

私たちは 何を学ぶのか ～鍼灸の学・術・道の真髄～

入場無料

令和元（2019）年度 東京都委託施術者講習会（第1回～第2回）

主催：東京都はりきゅう・あん摩マッサージ指圧師会 / 共催：東京都鍼灸師会・東洋医学学生交流会

第1回 活きたツボを捉える切経探穴法と刺鍼手技

6月30日（日） 13時～17時

会場：新橋ビジネスフォーラム
（港区新橋 1-18-21 第一日比谷ビル 8階）



講師 戸ヶ崎 正男

日本伝統鍼灸学会副会長、和ら会・真和塾代表、蓬治療所

著書に『思うツボ 切経探穴の実際および身体部位別ツボの特徴とその変え方』、
『DVD でよくわかる経絡按摩—切経探穴のための手技—』などがある。

【講師からのコメント】

鍼灸臨床で最も大事なことは、ツボを正確に捉え、鍼、灸でツボを的確に変える技術である。そのためにはどうしたら良いだろうか。全て手の技（わざ）である。手を削るしかない。心地よい手を作ることに始まる切経探穴の訓練法を学び、実践し続けること。次に、鍼であれば、伝統的な訓練法に習熟することはもちろん、ツボの状態（種類）と刺鍼技術との関係を知り、活きたツボへの刺鍼訓練の繰り返しによってはじめて、治せる技術が身に付く。この講演では、活きたツボを捉える切経探穴法、ツボの種類と刺鍼法との関係について講義し、その実際を行う。

第2回 長野教授の鍼術入門
- 唯掌（ゆいしょう）論と渾治（こんち）法 -

7月21日（日） 11時～17時

会場：中野区産業振興センター 3階大会議室
（中野区中野 2-13-14）



講師 長野 仁

写真提供：週刊「あはきワールド」

森ノ宮医療大学大学院教授、鍼灸鴻仁（はりきゅうこうじん）

著書に『九州国立博物館蔵『針問書』～虫の知らせ』（笠井昌昭共著）、
『皆伝・入江流鍼術』、『日本腹診の源流』、『鍼のひびき灸のぬくもり—癒しの歴史—』、
『実践小児はり法』（共著）などがある。

古医書研究の第一人者、長野教授が独自に開発した手指の訓練法「唯掌論」を手ほどきし、
講義・実技では、江戸期鍼灸書の太極療法（渾治法）を紹介し、実践応用を披露する。

【講義内容】

11:00～12:30 演習：唯掌論入門—エビデンスの前に指でんす
12:30～13:30 昼食
13:30～15:20 講義：渾治法（太極療法）の歴史の変遷と臨床的意義
15:20～15:40 休憩
15:40～17:00 実技：六腑院横刺法—琢周流の渾治的活用—

お申し込み方法

事前予約優先（予約がない場合、定員を超えるとお断りすることがあります）。下記のどれかの方法でお申し込みください。

①都師会 HP の申し込みフォームに記入。右の QR コードもご利用いただけます。

②メールに住所、氏名、資格（鍼灸師・学生・卒業生など）を記載し、都師会あてに送信してください。

事務局メールアドレス：toshikai8811@ybb.ne.jp



公益社団法人東京都はりきゅう・あん摩・マッサージ指圧師会（略称：都師会）

TEL 03-3252-8811 / FAX 03-3252-8813 / <http://www.tokyo89am.or.jp/>